

# 平成19年度 財政状況の公表

# 住みよいまちづくりを目指して

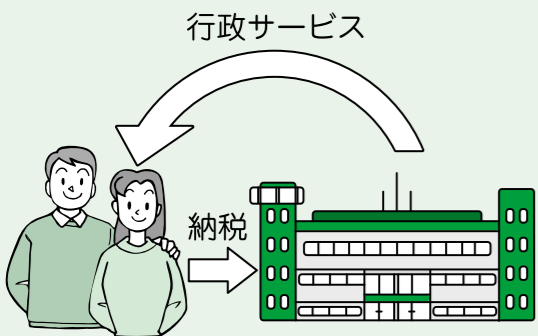
皆さんが市に納めた税金はどのように使われているのでしょうか。市は皆さんが納めた税金などをもとに予算を組み、住みよいまちづくりを目指して全力で取り組んでいます。平成20年3月31日現在における平成19年度の市の財政状況を公表しましたので、そのあらましをお知らせします。

## 19年度も 黒字決算の見込み

3月31日現在でまとめた平成19年度の市の財政状況は下の表のとおりです。実際に市に入ったお金が収入額、支払ったお金が支出額です。一般会計を見ると、最終予算額は、208億4045万円（18年度から繰り越した予算9億7063万円を含む）で、前年度と比較して2億3827万円増えています。この最終予算額に対し、3月31日現在の収入額は163億156万円で執行率78・2%となっています。5月31日までに収納の整理を行い最終的な決算をまとめます。市は広報5月1日号でお知らせした市政改革プログラムにもとづき事務事業の合理化・効率化などを進め、健全な財政運営に努めています。

## 納めた市税と市の予算 1人当たりにかかる行政サービス料は？

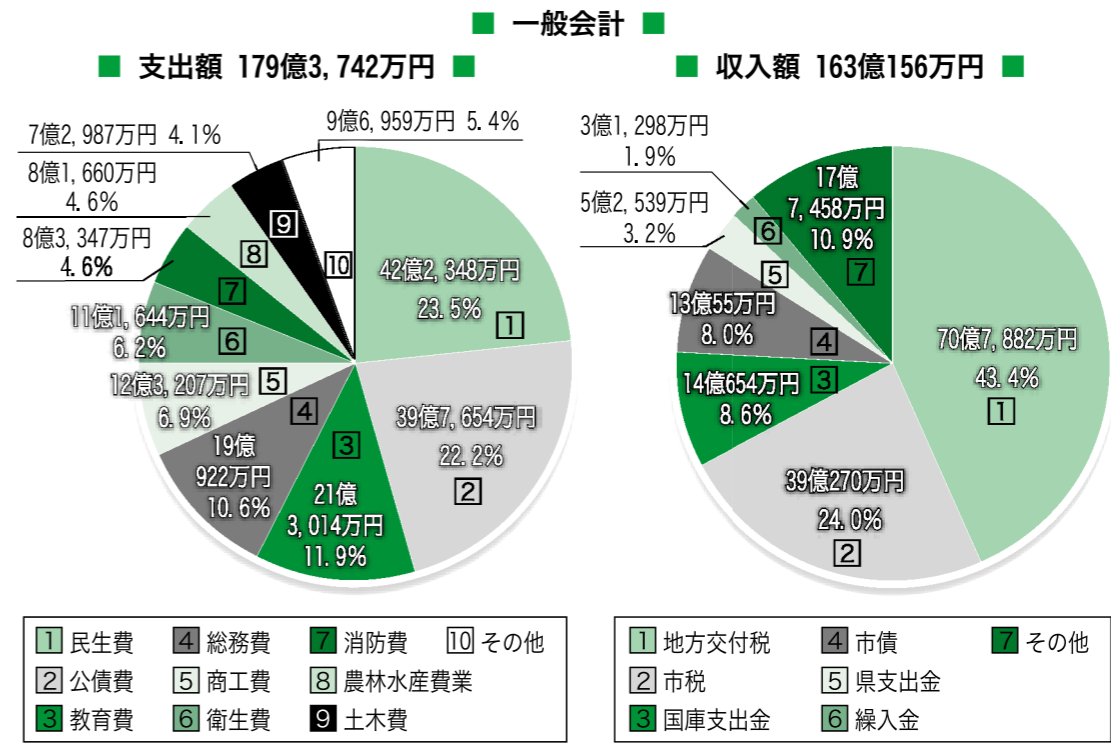
3月31日現在の市の人口は39,009人。市税と予算の使い道を市民1人当たりで計算すると、納めた市税が100,226円であるのに対し、受ける行政サービス料は地方交付税などの歳入と合わせて436,820円になります。



市民1人当たりが納める		市民1人当たりにかかる	
市民税 100,226円		サービス料 436,820円	
固定資産税	58,689円	民生費	106,874円
市民税	33,548円	公債費	101,939円
市たばこ税	5,828円	教育費	51,796円
軽自動車税	1,901円	総務費	48,943円
その他	260円	衛生費	28,620円
		土木費	18,710円
		農林水産業費	20,934円
		その他	59,004円

この結果、厳しい財政状況の中で19年度も引き続き黒字決算が見込まれています。特別会計では、9会計の合計で94億9015万円の予算に対し、収入額が68億2274万円で執行率71・9%となり、支出額が80億1880万円で執行率84・5%となっています。また、独立採算制を採っている企業会計の水道事業収益的収支（消費税を含む）は、収入額が7億297万円で、支出額が7億2248万円となっています。皆さんの納めた税金で住みよいまちづくりが進められています。

■ 特別会計 ■			
土地取得事業	収入額	...	18万円
	支出額	...	2,465万円
国民健康保険	収入額	...	39億6,718万円
	支出額	...	39億2,798万円
国保診療施設	収入額	...	1億3,041万円
	支出額	...	2億3,148万円
老人保健	収入額	...	23億5,605万円
	支出額	...	25億3,419万円
介護サービス事業	収入額	...	8,419万円
	支出額	...	7,730万円
魚市場事業	収入額	...	1,691万円
	支出額	...	2,528万円
漁業集落排水事業	収入額	...	2,173万円
	支出額	...	1億6,179万円
工業団地造成事業	収入額	...	2,387万円
	支出額	...	4,240万円
公共下水道事業	収入額	...	2億2,223万円
	支出額	...	9億9,374万円
■ 企業会計 ■			
水道事業	収益的	収入額	...
	支出額	...	7億2,248万円
	資本的	収入額	...
	支出額	...	4億3,241万円



▼市債  
市の借金のことです。

▼国庫支出金  
国と地方が協力して行う公共事業や社会保障、教育などの財源に充てるため、国が支出するお金です。

▼地方交付税  
人口や環境などの違いで生まれる地方間の差を調整するために国から配分される税金です。国の税金として徴収される所得税や法人税なども含まれています。

▼地方譲与税  
国の税金として徴収された後、一律的に市に譲られる税金です。

▼市税  
さまざまな税金のうち、市が納税義務を課して徴収する税金を市税といいます。市民税、固定資産税、軽自動車税や国民健康保険税などが市税にあたります。

▼特別会計  
国民健康保険など特定の財源を特定の事業に振り向けて一般会計とは別にやりくりする会計です。

▼一般会計  
市の会計の中心となるもので、行政を運営するための基本的な経費を計上した会計です。

「？」という言葉があったらここを  
読んでみよう